

## 発足1周年に寄せて

SDSN Japan 理事会議長 / IGES 理事長  
浜中 裕徳

SDSN Japanは昨年7月、ISAP2015において正式発足して以来、ちょうど1年が経ちました。これまでの間、持続可能な社会の実現に向け、ステークホルダーの皆様との連携の下、様々な活動を実施してきました。

とりわけ昨年9月の国連総会で採択された「2030アジェンダ」の中核をなす「持続可能な開発目標」(SDGs)の達成に向けた普及啓発に努めるとともに、専門家ワークショップを開催し、本年4月には、SDGsの主流化に向けた政策提言をまとめました。この提言は、①ガバナンス、②ステークホルダーの役割、③気候変動、④持続可能な消費と生産(SCP)、⑤生物多様性及び⑥開発・国際協力と教育、といった領域に焦点を当て議論した結果を取りまとめたものです。検討の当初はG7サミット及びその関連閣僚会合をターゲットとして議論を始めましたが、内容的には、より幅広い対象をカバーすることとなり、本年9月に中国で開催されるG20や政府機関以外のステークホルダーの今後の行動指針の一助ともなり得るものになっています。



このためこの提言は、G7サミットを鬼木環境大臣政務官に手交 (4月)

ミットの議長国としての日本政府関係機関に届けるとともに、SDSN世界ネットワークを通じて国際社会にも広く発信することとしています。また同じく4月に開催した公開シンポジウムにおいて多くのステークホルダーの皆様の参画の下に、今後のSDGs実施に向けた集中的な議論を行いました(「SDSN Japan公開シンポジウム報告」参照)。

国際社会においては、本年に入りSDGs達成に向けた取り組みが活発に展開されています。7月11日からは、SDGs策定後初めてのHigh Level Political Forum (HLPF)も始まります。日本政府においては、先般「持続可能な開発目標推進本部」が設置されました。この推進本部では、課題に応じて臨機応変かつ総合的に政策を推進する司令塔の役割を果たすことが期待されますが、現在のところまだそのような役割を担うものになるかどうか、予断を許しません。またSDGs目標達成に向けた国家的行動指針の早期策定が求められています。今後こうした仕組みが適切に動き出し、取組みが進むよう、働きかけを継続したいと考えています。

私達SDSN Japanとしても当面の活動方針を策定すべく鋭意作業を進めているところであり、今後この行動方針に沿った緒活動を関係ステークホルダーの皆様との連携の下に展開していくことにしています。引き続き皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

### SDSN Japan 公開シンポジウム報告

SDSN Japanは、去る4月16日、国連大学本部において公開シンポジウム「持続可能な開発の主流化を目指して：G7サミットプロセスを視野に」を開催しました。



第1部では、SDSN Japan副議長の武内和彦教授(国連大学上級副学長)より、SDSN Japanからの政策提言に焦点を当てた基調講演に続き、政策提言に携わったSDSN Japan理事会メンバーによるダイアログ・セッションが行われました。

第2部では、国谷裕子キャスターがモデレーターを務めたパネルディスカッションにおいて、SDGsの実施に向けた各ステークホルダーの今後の取組みについて集中的な議論を行いました。

### ウェブサイトがリニューアルします

SDSN Japanのウェブサイトが新しくなります。8月からはデザインを一新したウェブサイトをぜひご利用下さい。

<http://sdsnjapan.org>



### SDSN Japanの活動目的

1. SDGsを始めとするサステナビリティの課題への取組
2. 多様なステークホルダーとの協働のためのプラットフォーム構築
3. 国連機関や国際機関の関係者、各国・各地域ネットワークとの連携による国際動向のフォロー、および日本の成果の国際発信